



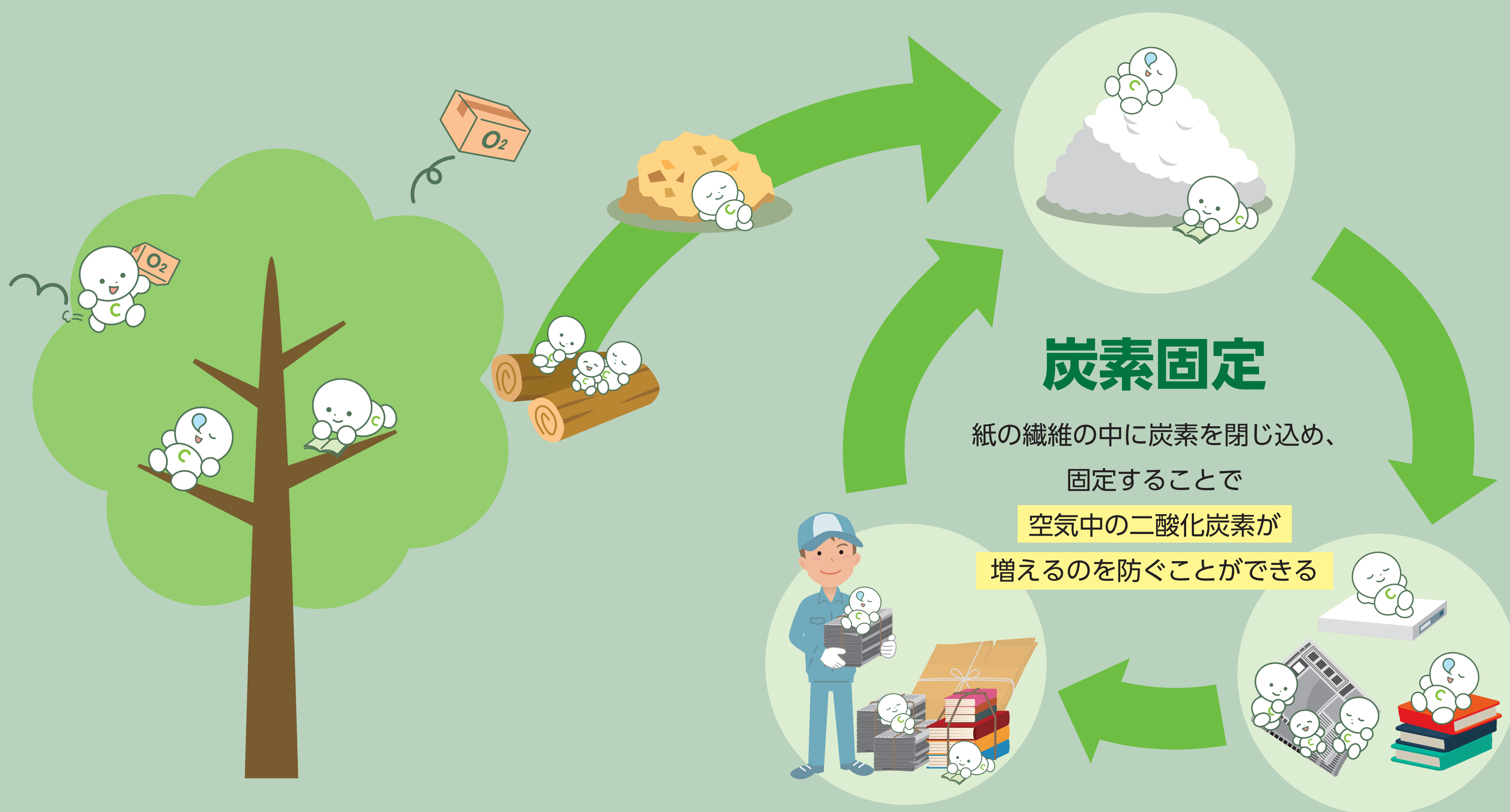
ペーパーレスで
紙の使用を
減らすことが、
温暖化対策に
なるんじゃないの？

紙をリサイクルすることが 温暖化対策になります。



使い終わった紙(古紙)の回収・リサイクルによって、 木が吸収した炭素を固定し続けることが可能

光合成により木の繊維の中に吸収された二酸化炭素由来の炭素は、紙がつくられた後も、その繊維の中に固定されたままです。紙のリサイクルでは、紙の形に姿を変えていた繊維をほぐし、改めて形成することで、新たな紙に生まれ変わらせます。炭素を固定している木の繊維を繰り返し利用することで、空気中の二酸化炭素が増えるのを防ぐことができるのです。



紙もいつかは燃やす。でも、地上の炭素の量が増えるわけではない。

繰り返し紙をリサイクルすると、木の繊維の長さが短くなってしまふことから、紙として使えるのは4～6回が限界と言われています。つまり、いつかは燃やすことになるということ。

でも、そこで排出される二酸化炭素は、元々地上にあった炭素によってできるもの。地上の炭素が地上で循環しているだけで、元々のCO₂の量は変わらない、と考えられています。

同じ「燃やす」という行為でも、私たちが住む地上にこれまでなかったCO₂を増やすことになる、化石燃料の石油や石炭を燃やすのとはわけが違います。



この本も、炭素を固定している。
今後も大切に読み続ければ炭素固定は続くし、不要になったら
リサイクルに出せば、温暖化対策に貢献できるんだ。